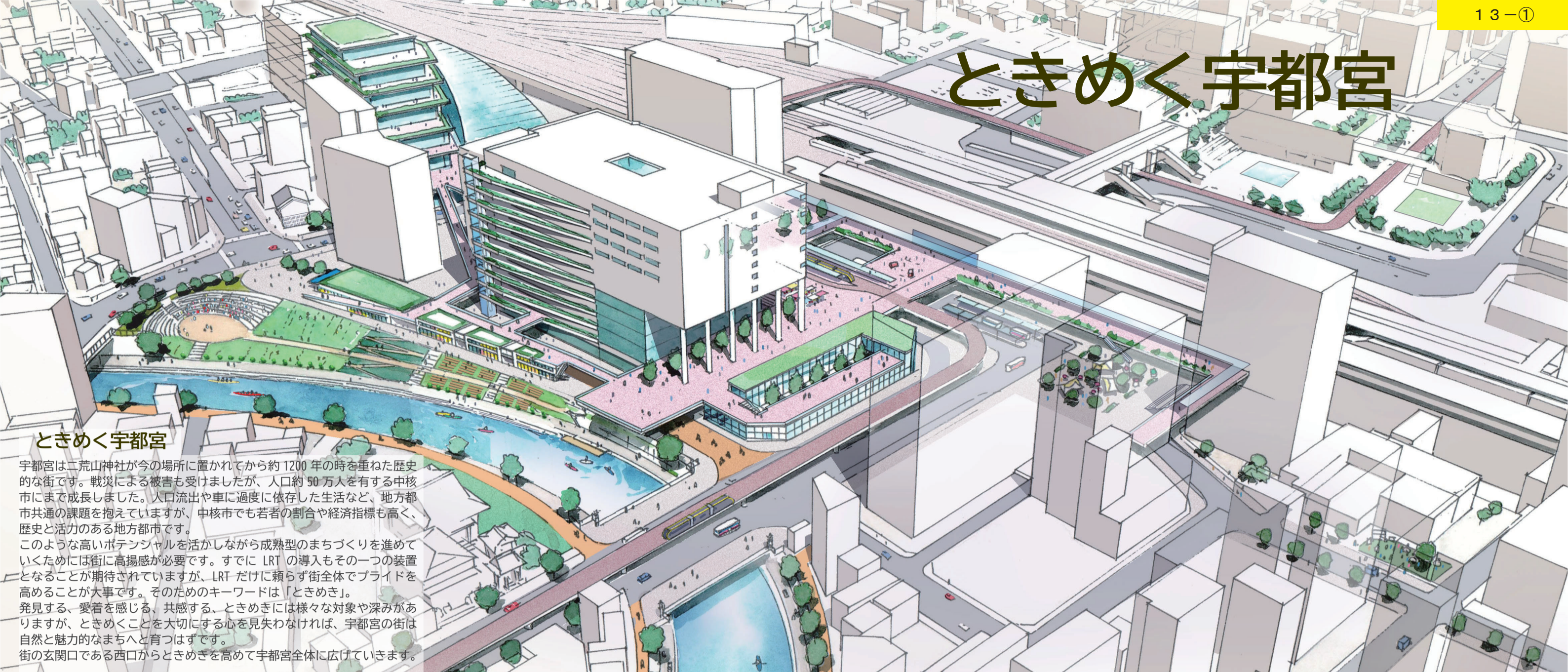


# ときめく宇都宮



## ときめく宇都宮

宇都宮は二荒山神社が今の場所に置かれてから約1200年の時を重ねた歴史のある街です。戦災による被害を受けましたが、人口約90万人を有する中核市にまで成長しました。人口流出や車に過度に依存した生活など、地方都市共通の課題を抱えていますが、中核市でも若者の割合や経済指標も高く、歴史と活力のある地方都市です。

このような高いポテンシャルを活かしながら成熟型のまちづくりを進めていくためには街に高揚感が必要です。すでにLRTの導入もその一つの装置となることを期待されていますが、LRTだけに頼らず街全体でプライドを高めることが大事です。そのためのキーワードは「ときめき」。

発見する、愛着を感じる、共感する、ときめきには様々な対象や深みがありますが、ときめくことを大切にすることを失わずに、宇都宮の街は自然と魅力的なまちへと育つはずです。

街の玄関口である西口からときめきを高めて宇都宮全体に広がっていきます。

## 西口でつくるときめき

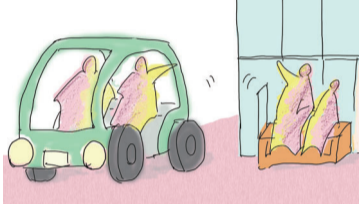
### モビリティにより都市機能を更新する

- ・センターコアと西口とのつながりを広げる
- ・西口の交通結節機能を強化、再編する

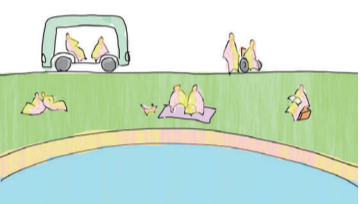
### 街を大きく開いて丁寧につくる

- ・三方の「抜け」により田川と駅前を一体化する
- ・街中に眠るときめき要素を磨く

### ときめく宇都宮へ



駅前にいろいろなモビリティが出てきて歩きやすくなったしちょっとした移動も楽になった！車いねな



駅前なのに、田川やそこらじゅうに居心地のいいところがたくさんできた！西口おしゃべり



集まりやすいし、いろいろなイベントもあるから、つい行くけど、そこからまた輪が広がるんだよね！駅前、沼だな



最近では人が来るだけでなく、暮らし始める人も増えてびっくり！確かに居心地よくな

→関係者の共感を育みながらときめきを持続させる

## 宇都宮市街地の読み解き

### 広域にみる位置づけ

関東平野と東北平野の中継地  
江戸時代に江戸との関係が強まる  
北関東の中核市として発展してきた

東京から100km圏というアクセスのよさから企業や工業立地が進み経済圏を形成する一方、少子高齢化や車社会からの転換など地方都市共通の課題を抱える

宇都宮市街地は都市機能が集積する拠点であり、住民・来訪者が集い独自の都市文化を発展させた

提案のポイント  
・交通結節機能を活かしながら独自の魅力を発信する都市へ

### 宇都宮市街地の変遷

#### 【～中世】

丘陵地や微高地に寺社・城が立地し街が形成



#### 【近世】

2つの街道が交わる要所として街が発展



#### 【近代】

大通りが開通し骨格ができる駅を中心とした街の核が生じる



#### 【現在】

1982年新幹線開業 西口再編により現在の姿に東口に交流拠点施設が開業 街の更新へ



交通機能の見直し空間再編の必要  
【西口の現状の課題】  
・交通結節機能強化  
・滞留空間の不足  
・周辺との関係が希薄  
・風景や文化など宇都宮の魅力を感じにくい

### JR 宇都宮駅西口の提案のポイント

市街地の二つの核の関係からポイントを導く。

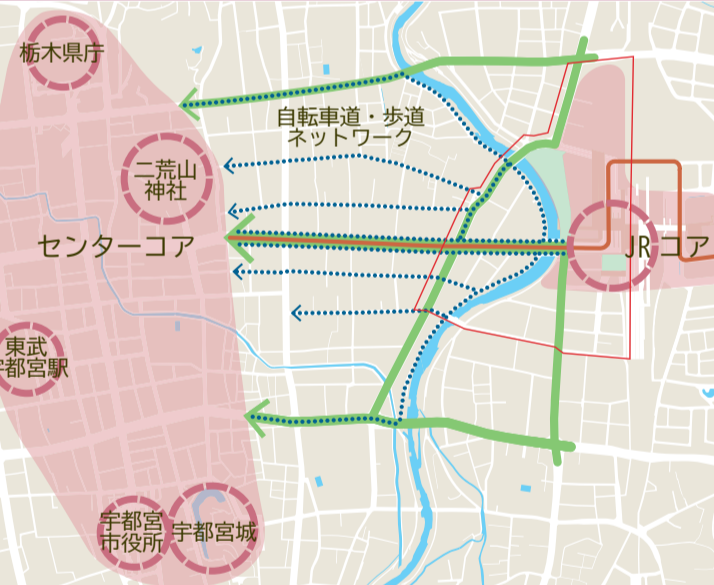
【センターコア】  
・約1200年の歴史・大通りを軸とした明快な道路網  
・庁舎や寺社など都市の中核機能が立地  
・ジャズやカクテルなど都市文化の醸成、発信地

【JRコア】  
・田川の影響を受けた特徴的な街区形成  
・駅/センターコアからの人の流れを受け止める  
・東口の再開発やLRT開通 まちの更新時期



## モビリティにより都市機能を更新する

### センターコアと西口とのつながりを広げる



【新たな交通体系によりときめく】  
LRT 市内の東西を結ぶ主要移動手段として新設  
バス LRTを補完する移動手段として再編  
自動車 今の利便性を維持  
タクシー 今の利便性を維持  
自転車 ルート整備も含めて強化  
新モビリティ 自転車～歩行を補完する移動手段として導入  
徒歩 ときめきをつくる移動手段として重視

【大通りのシンボル化にときめく】  
・LRTを導入して車線、自転車道、歩道を再編（+沿道の景観整備）

【大通りの脳道ネットワークでときめく】  
・西口からセンターコアに向かう自転車道、歩道ネットワークの充実化  
・自転車道は将来的には新モビリティの通行も想定

### 西口の交通結節機能を強化、再編する



【高架案で立体的に処理されたLRTにときめく】  
・乗継の効率化、交通空間のコンパクト化等を助成

【バスと車のアクセスルートの完全分離でときめく】  
・バスは宮の橋から大通り経由でアクセス  
・バスターミナルを大通り北側に移設して乗継改善  
・車とタクシーは幸橋、奥州街道からアクセス  
・車とタクシープールは低未利用地に確保

【デッキネットワークの広がりにときめく】  
・西口駅前から南北方向、東口を含む東西方向を結ぶ  
・デッキ上には低速モビリティを導入して歩行移動を補完

【宮の橋手前に集約設置された駐輪場にときめく】  
・駅前に駐輪場を集約化し、憩いの場も兼ねた象徴的空間に  
・宮の橋から南北に広がる自転車ルートの起点に

## 街を大きく開いて丁寧につくる

### 三方の「抜け」により田川と駅前を一体化する（ときめきスクエア）



【駅から宮の橋までの抜けにときめく】  
・駅から田川を感じられるビューを創出  
・東口と田川をつなぐデッキプロムナードを貫通  
・大通りは宮の橋の幅員まで壁面後退させて軸線を強調

【田川沿いの公園空間となる抜けにときめく】  
・駅利用者にも自然の感じられる滞在環境を提供  
・県道も公園化して整備  
・旧篠原家、幸橋との連続性も確保

【駅前広場から低未利用地に向かう抜けにときめく】  
・低未利用地に向かう抜けを確保して駅前の開放感を確保  
・抜けとあわせてデッキプロムナードを整備  
・LRT駅と一体的なオープンスペースを整備

【抜けに囲まれたスクエア空間でときめく】  
・駅前、田川、大通り、各々の表情を開放感により一体化

### 街中に眠るときめき要素を磨く



【駅前と田川のつながりでときめく】ときめきスクエア  
・駅前広場と田川の間で複数の通り抜け整備  
・通り抜けと合わせて交流の場づくりをしなげる

【モビリティと融合した街にときめく】ときめきラボ  
・低未利用地において新たな都心機能を整備  
・エリア内はモビリティ利用を前提とした動線を構築  
・引き込み線跡の線形を活用してエリア内の領域を区分

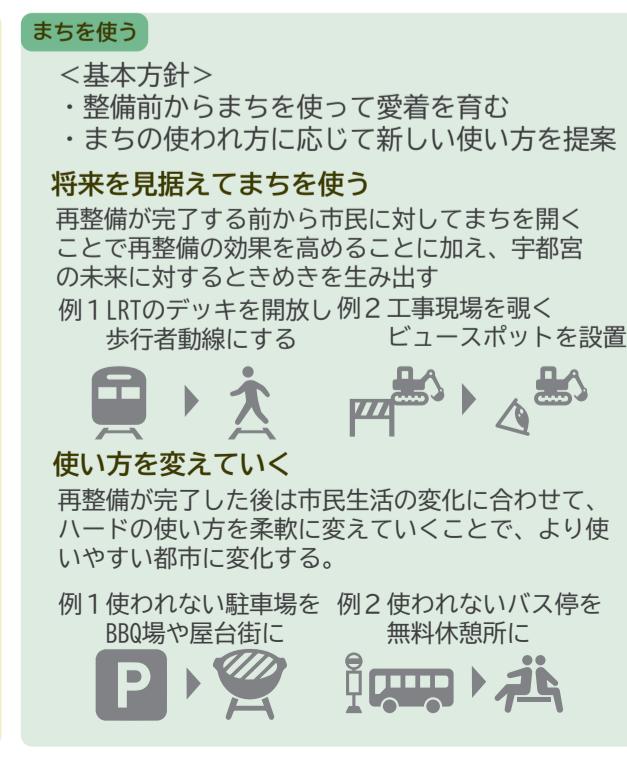
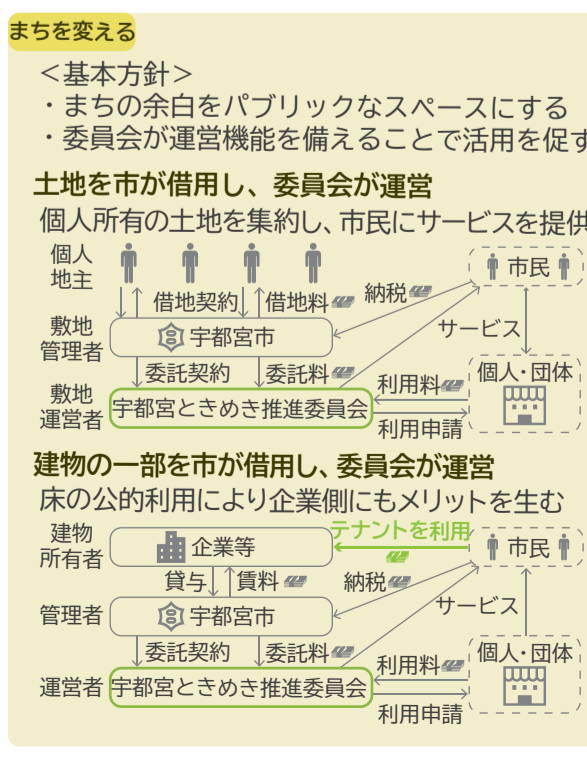
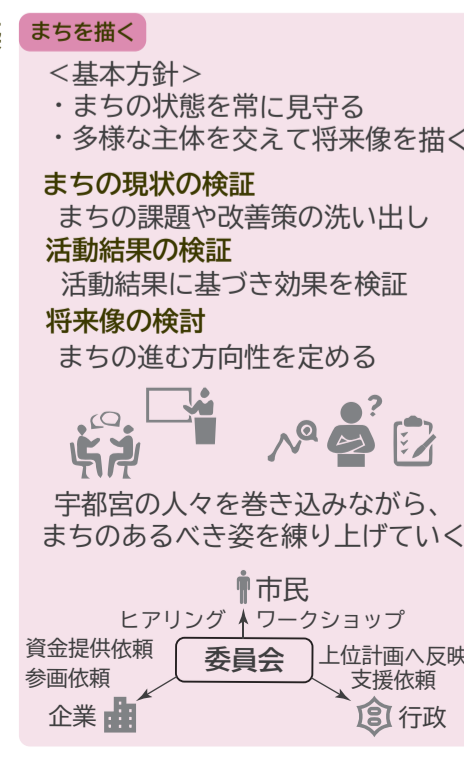
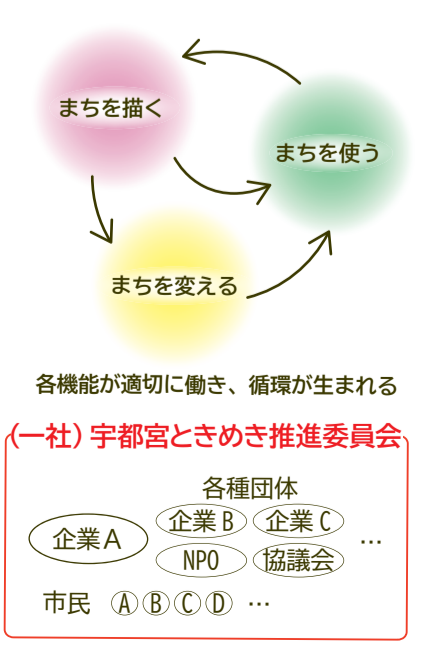
【奥州街道の歴史環境にときめく】  
・旧篠原家から幸橋は公園空間と一体的に歴史環境を尊重

【滞在、居住の心地よさにときめく】タウンステイエリア  
・南側を滞在、居住環境が整ったタウンリゾートに  
・地上部の広場から南北動線をゆとりある空間化

【駅近の別世界にときめく】ウェルビーイングエリア  
・上河原におけるNCC構想の体現（医療に恵まれた居住環境）  
・隙間空間を利用したサブカルの発現

## ときめきを育てていく仕組み

### ときめきの循環システムを構築 3つの機能を有する組織を設立する



スケジュールイメージ  
構想・計画づくり、先行開発、インフラ整備と段階的にまちづくりを進めて、ときめくまちにしていきたいと思います。

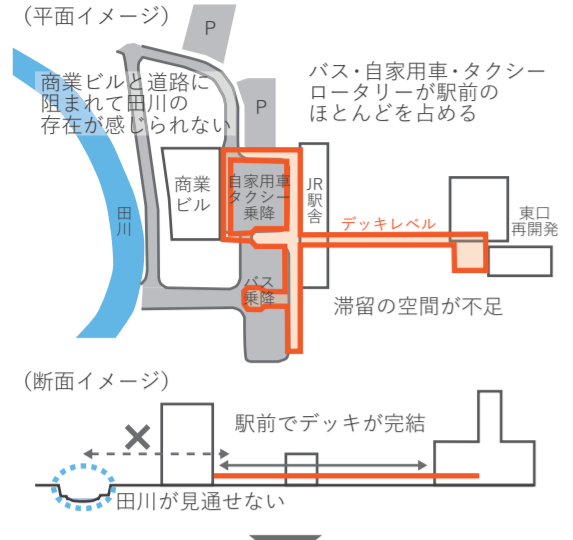
先行開発着手	インフラ整備着手	街開き
LRT 整備計画・設計	工事	試運転 開業
駅前広場地上部デッキ 整備計画・設計	暫定工事	工事 オープン
トナリ工街区 再編整備計画・設計	権利者移転 建物工事	暫定開業 周辺工事 開業
田川パーク 整備構想 廃道社会実験	整備計画 権利者移転	河川改修工事 公園工事 オープン
南側再開発 整備計画設計	工事	再開発完了 周辺のまち環境改善
低未利用地 整備計画設計	工事	暫定開業 部分営業 デッキ仮接続 営業範囲拡大
上河原	まち環境改善	デッキ本接続フル開業 LRT駅開業



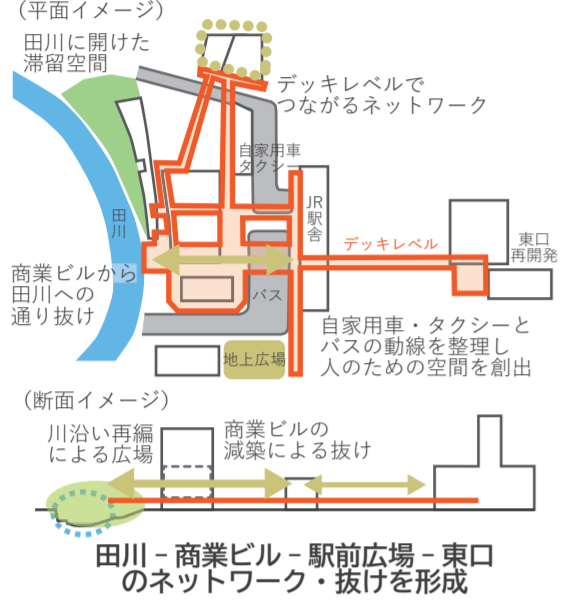
### JR 駅西口を “ときめきスクエア” へ

交通空間が拡大し街の魅力が見つづらかった西口を、抜けの空間やデッキネットワーク整備により、ときめきが生まれる場所に再編。

#### 【現状】 車のための空間から転換が必要



#### 【提案】 ときめきが生まれる駅前へ



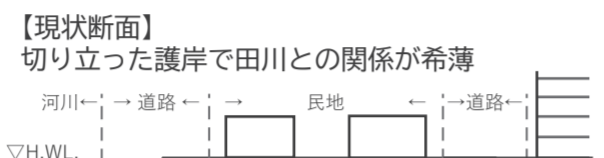
### 田川パーク 緑の安らぎと川辺のアクティビティのときめき

川辺空間の再編により川と街の関係を再構築。宇都宮の自然豊かなときめきを生み出すオープンスペース「田川パーク」を創出

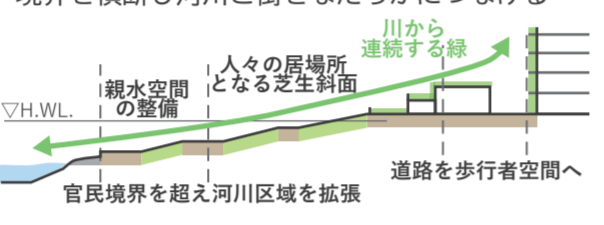


#### ○川と街との関係をつくる

駅西口の骨格である田川を表の空間とするため、河川・道路・民地の境界をまたぎ再編。川に対して開けた空間を生み出す。



#### 【提案断面】 境界を横断し河川と街をなだらかにつなげる



#### ○川辺の居場所づくり



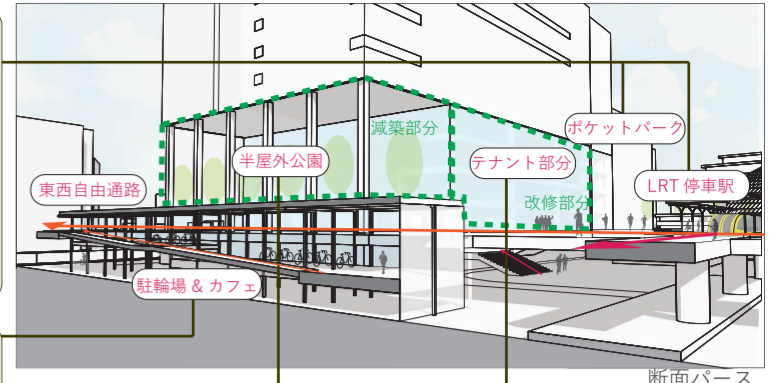
田川と既存街区との距離・勾配に応じて、ゆったり過ごす斜面や緑を眺めながら歩くスロープなど様々な場所を設け、多様な過ごし方ができる。

### 駅前広場 まちに一步踏み出す期待ふくらむときめき

既存商業ビルを活かした空間の抜けにより駅に降り立つ人々に新たなときめきを多様なモビリティが安全に行きかう 交通結節機能と滞留空間を融合させた広場

#### ○街の新たな玄関口

駅西側広場には新たに LRT の停車駅を設置し、センターコアへの玄関口へ。スローモビリティや人が行きかう広い空間とポケットパークを設けることにより、人々の集うオープンスペースとなる。

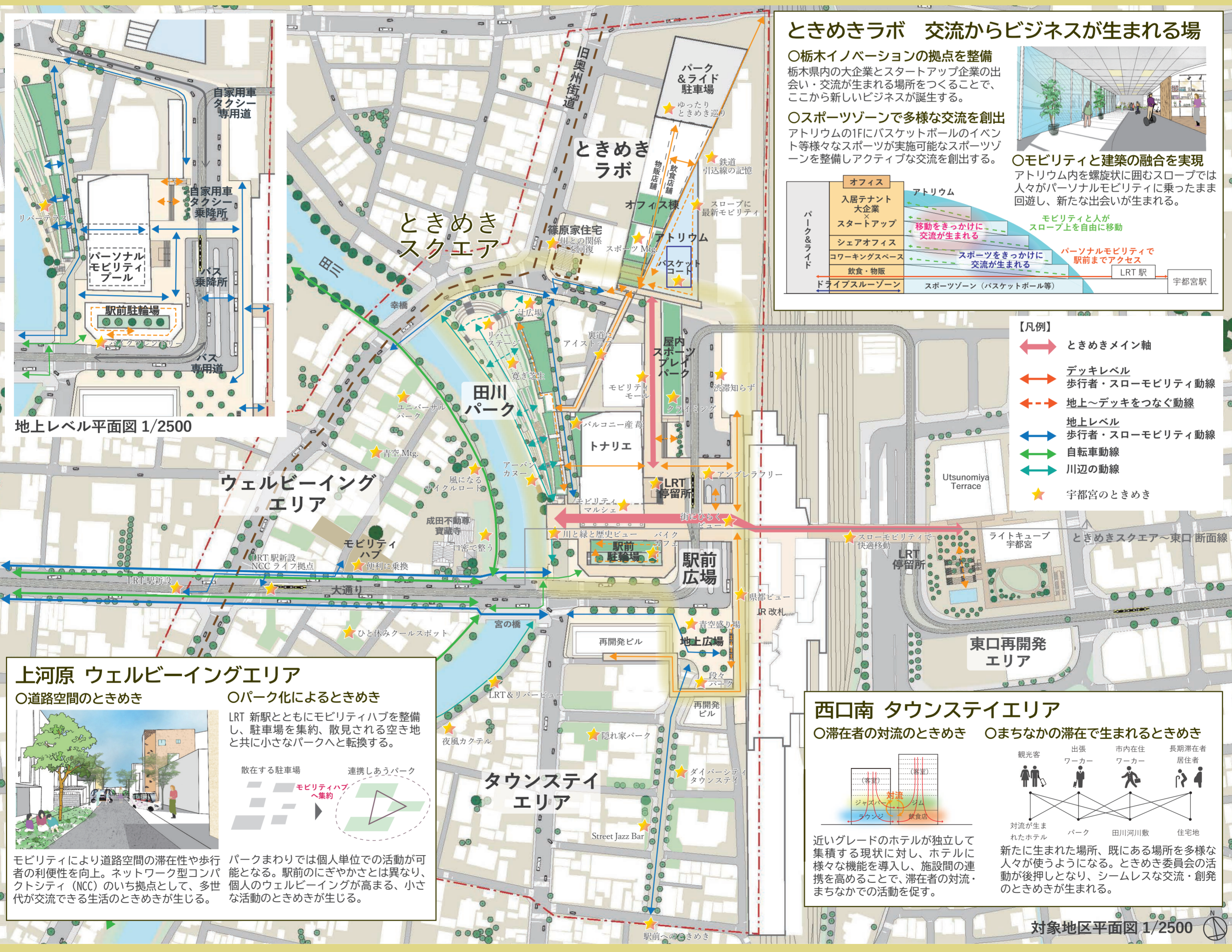
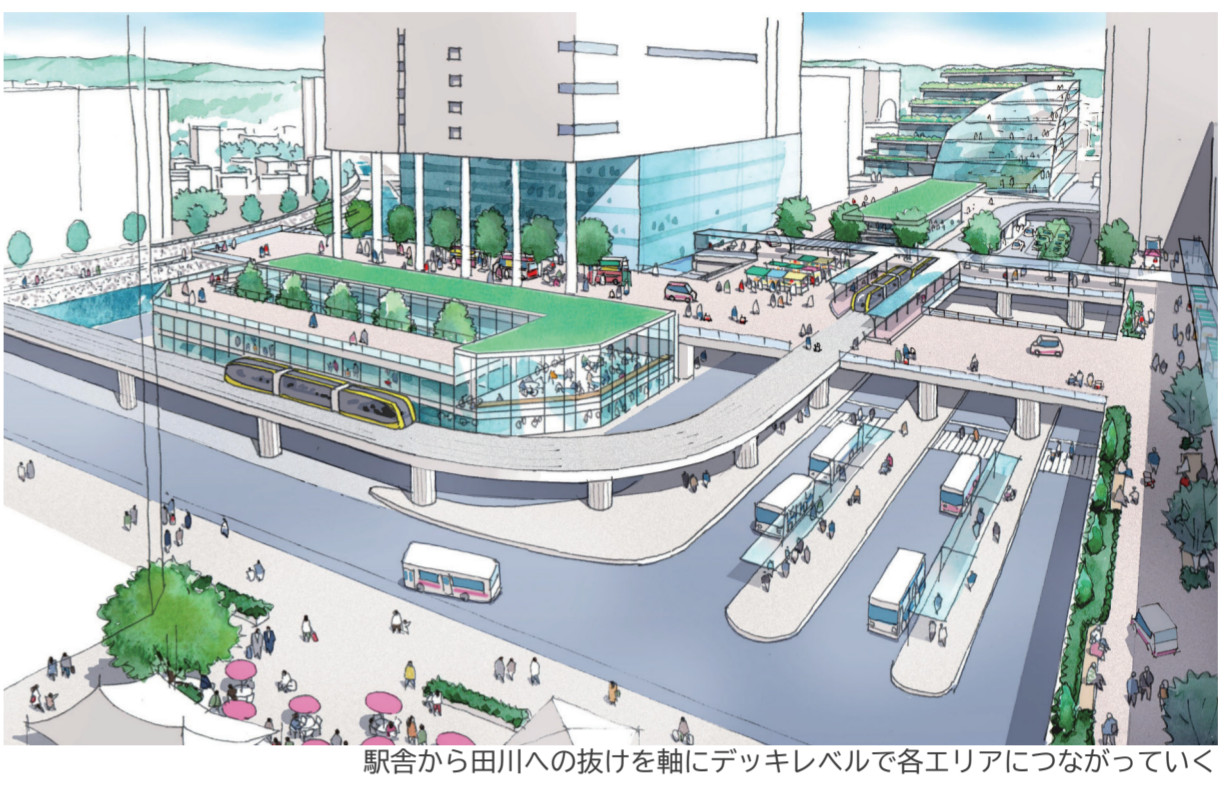


#### ○街と観光客の接点を創る

再開発エリアに駐輪場兼カフェを併設する。スロープによって LRT 乗り場への移動をスムーズにし、出発の準備をする拠点となる。

#### ○既存価値を高める

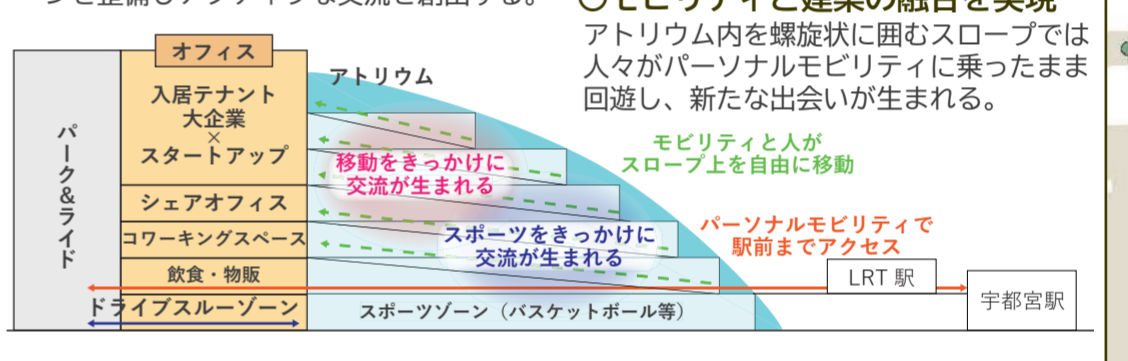
トナリエの一部を減築して東西自由通路を田川へと延長し、半屋外公園へと整備する。低層階はガラスファサードに改修することで風景に溶け込み親しみのある空間となる。



### ときめきラボ 交流からビジネスが生まれる場

○栃木イノベーションの拠点を整備  
栃木県内の大企業とスタートアップ企業の出会い・交流が生まれる場所をつくることで、ここから新しいビジネスが誕生する。

○スポーツゾーンで多様な交流を創出  
アトリウム1Fにバスケットボールのイベント等様々なスポーツが実施可能なスポーツゾーンを整備しアクティブな交流を創出する。



- 【凡例】
- ときめきメイン軸
  - デッキレベル 歩行者・スローモビリティ動線
  - 地上〜デッキをつなぐ動線
  - 地上レベル 歩行者・スローモビリティ動線
  - 自転車動線
  - 川辺の動線
  - 宇都宮のときめき

### 上河原 ウェルビーイングエリア

○道路空間のときめき  
LRT 新駅とともにモビリティハブを整備し、駐車場を集約、散見される空き地と共に小さなパークへと転換する。

○パーク化によるときめき  
パークまわりでは個人単位での活動が可能となる。駅前のにぎやかさは異なり、個人のウェルビーイングが高まる、小さな活動のときめきが生まれる。

モビリティにより道路空間の滞在性や歩行者の利便性を向上。ネットワーク型コンパクトシティ (NC) のいち拠点として、多世代が交流できる生活のときめきが生まれる。

### タウンステイエリア

再開発ビル、公園、カフェ、店舗などが集まるエリア。

### 西口南 タウンステイエリア

○滞在者の対流のときめき  
近しいグレードのホテルが独立して集積する現状に対し、ホテルに様々な機能を導入し、施設間の連携を高めることで、滞在者の対流・まちなかでの活動を促す。

○まちなかの滞在で生まれるときめき  
観光客、出張ワーカー、市内在住ワーカー、長期滞在居住者。対流が生まれたホテル、公園、田川河川敷、住宅地。

### ときめきの景観づくり

